

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330522120	保育実習 I Practice of Childcare I	伊藤久美子・古田年寿	✓		2	選択	2後期

科目の概要

保育士資格取得に必要な保育実習は、保育所実習、施設実習、保育実習Ⅱ（保育所）または保育実習Ⅲ（施設）の3種である。そのうち初めての学外本実習として、この保育所実習が行われる。保育実習Ⅰでは、DP①、③、をふまえ、保育所の役割、乳幼児の活動の実践的理解、保育現場の環境構成、保育者の役割と責務の把握を図ることを目的としている。DP⑤の社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けることを目指します。そして、DP⑦の、生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる保育者を目指します。保育現場で勤務した経験（幼稚園：伊藤）を基に、専門的かつ実践的な助言を行う。

学修内容	到達目標
① 保育所の役割や機能を具体的に理解する。 ② 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。 ③ 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。 ④ 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について、具体的に理解する。 ⑤ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。	① 保育所の役割や機能を具体的に理解できる。 ② 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深めることができる。 ③ 教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解できる。 ④ 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について、具体的に理解できる。 ⑤ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

前に踏み出す力	主体性	保育実践のために自ら練習することができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手（子ども）に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や発達にあった実践をすることができる。
	傾聴力	他の保育士の意見に耳を傾け、自分の振舞を振返ることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	勤務態度、提出物、身なり等の実習のルールを守って実習に取り組むことができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド（わかば社）、実習の手引き、実習日誌「保育実習Ⅰ」
 参考文献：保育所保育指針（厚生労働省）

他科目との関連、資格との関連

本科目は、学科専門科目の幼・保の実習領域に属する科目で、幼・保領域で学んだ知識や技術をもとに初めての实習となる科目である。
 関連する資格：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
これまで学習してきた保育に関する科目を復習するとともに、パネルシアター、手遊び、ピアノ等の準備をしておくこと。また、これまでの学外活動の事前指導として受けた内容、事後の感想や反省を思い起こし、役立てようとする姿勢が不可欠である。実習を行ったその日の記録を丁寧に書くことで、一日の振り返りを行うとともに、次の日の目標を考える姿勢が不可欠である。	積極的な実習態度、礼節と責任をもった行動が不可欠である。10分前行動など、時間にゆとりを持った行動を心掛け、分からないことは必ず確認すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	小テスト		0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
レポート		0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

実習園からの評価表の各項目を得点換算し、評価する。
 ・pisa型学力の評価方法について
 知識の獲得（保育実習にの概要の理解・用語の理解）30%
 知識の活用（保育実践の方法についての知識と試み）40%
 知識の解決（保育実習に向けた自己課題の明確化と目標設定）30%

（主体性）保育実践のために自ら練習することができる。
 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
 （創造力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。
 （発信力）聞き手（子ども）に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や発達に合った実践をすることができる。
 （傾聴力）他の保育士の意見に耳を傾け、自分の振舞を振返ることができる。
 （規律性）勤務態度、提出物、身なり等の実習のルールを守って実習に取り組むことができる。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)</p> <p>①保育所の役割と機能について、保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり、保育所保育指針に基づく保育の展開を、実践を通して具体的に理解できる。 ②子どもの理解について、子どもの観察とその記録による理解、子どもの発達過程の理解、子どもへの援助や関わりを理解を、実践を通して深められる。 ③保育内容・保育環境について、保育の計画に基づく保育内容、子どもの発達過程に応じた保育内容、子どもの生活や遊びと保育環境、子どもの健康と安全を、実践を通して総合的に理解できる。 ④保育の計画・観察・記録について、全体的な計画と指導計画及び評価の理解、記録に基づく省察・自己評価を、実践を通して具体的に理解できる。 ⑤専門職としての保育士の役割と職業倫理について、保育士の業務内容、職員間の役割分担や連携・協働、保育士の役割と職業倫理を、実践を通して具体的に理解できる。</p> <p>A(優)</p> <p>①保育所の役割と機能について、保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり、保育所保育指針に基づく保育の展開を、実践を通して理解できる。 ②子どもの理解について、子どもの観察とその記録による理解、子どもの発達過程の理解、子どもへの援助や関わりを理解を、実践を通して理解できる。 ③保育内容・保育環境について、保育の計画に基づく保育内容、子どもの発達過程に応じた保育内容、子どもの生活や遊びと保育環境、子どもの健康と安全を、実践を通して理解できる。 ④保育の計画・観察・記録について、全体的な計画と指導計画及び評価の理解、記録に基づく省察・自己評価を、実践を通して理解できる。 ⑤専門職としての保育士の役割と職業倫理について、保育士の業務内容、職員間の役割分担や連携・協働、保育士の役割と職業倫理を、実践を通して理解できる。</p>	<p>B(良)</p> <p>①保育所の役割と機能について、保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり、保育所保育指針に基づく保育の展開を理解できる。 ②子どもの理解について、子どもの観察とその記録による理解、子どもの発達過程の理解、子どもへの援助や関わりを理解できる。 ③保育内容・保育環境について、保育の計画に基づく保育内容、子どもの発達過程に応じた保育内容、子どもの生活や遊びと保育環境、子どもの健康と安全を理解できる。 ④保育の計画・観察・記録について、全体的な計画と指導計画及び評価の理解、記録に基づく省察・自己評価を理解できる。 ⑤専門職としての保育士の役割と職業倫理について、保育士の業務内容、職員間の役割分担や連携・協働、保育士の役割と職業倫理を理解できる。</p> <p>C(可)</p> <p>①保育所の役割と機能について、保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり、保育所保育指針に基づく保育の展開を概ね理解できる。 ②子どもの理解について、子どもの観察とその記録による理解、子どもの発達過程の理解、子どもへの援助や関わりを理解を概ね理解できる。 ③保育内容・保育環境について、保育の計画に基づく保育内容、子どもの発達過程に応じた保育内容、子どもの生活や遊びと保育環境、子どもの健康と安全を概ね理解できる。 ④保育の計画・観察・記録について、全体的な計画と指導計画及び評価の理解、記録に基づく省察・自己評価を概ね理解できる。 ⑤専門職としての保育士の役割と職業倫理について、保育士の業務内容、職員間の役割分担や連携・協働、保育士の役割と職業倫理を概ね理解できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の役割と機能を理解する。 ・保育所の生活と一日の流れを知る。 ・子どもの観察とその記録から発達過程の理解を深める。 ・子どもの生活や遊びと保育環境との関わりについて理解を深める。 ・子どもの健康と安全について理解を深める。 ・専門職としての保育士の業務内容について理解を深める。 	実習 google classroomにて フィードバック	責任と主体性を持って実習に臨むことができる。	予習:次の日の保育のねらいを聞き、必要な準備、練習をする。 復習:その日の活動を振り返り、記録・反省する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの観察とその記録から子どもへの援助や関わりの理解を深め、実践する。 ・保育の計画に基づく保育内容の理解を深め、実践する。 ・職員間の役割分担や連携について理解を深め、実践する。 ・専門職としての保育士の役割と職業倫理の理解を深める 	実習 部分的な指導（保育実践発表など）を行う。 google classroomにて フィードバック	責任と主体性を持って実習に臨むことができる。	予習:実習に臨むための準備を行う。 復習:その日の活動を振り返り、記録・反省する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
		ク				

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
				。		
				。		

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力